

薬物に手を出さないために

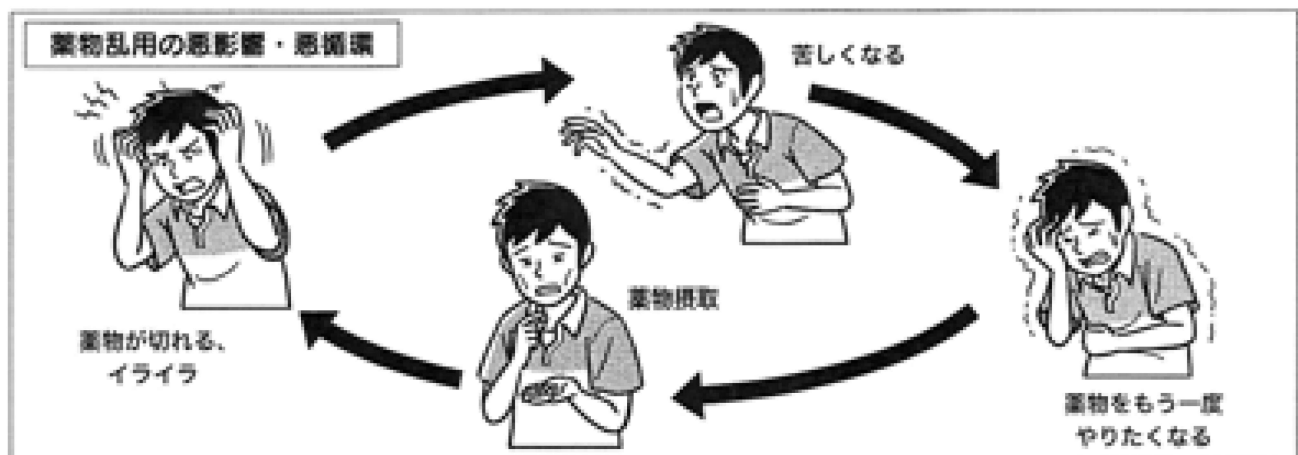
薬物は体に悪いとわかっているけど、友達などから誘われると断りきれないことがあるかもしれません。改めて薬物乱用の害と、誘われたときの断り方について考えてみましょう。

薬物乱用がもたらす影響

大麻、覚醒剤、麻薬などの薬物は脳に直接作用し、心身に大きな悪影響を及ぼします。

1回ぐらいなら大丈夫と思っても、こうした

薬物には依存性があり、薬物の作用が切れたときに、また薬物を使いたいという強い欲求が現れたり、震えや倦怠感けんたいかんが現れたりします。こうした状態になると、薬物使用をやめたくてもやめられなくなります。



さまざまな薬物

大麻



大麻に含まれる成分テトラヒドロカンナビノールには、幻覚作用、記憶力・学習能力の低下、生殖機能への悪影響などがあります。

覚醒剤



覚醒作用、食欲の低下、幻覚、被害妄想などがあります。強い依存性があり、1回の使用でも急性中毒で死亡することがあります。

麻薬 (MDMA)



幻覚、錯乱、妄想などの作用があります。MDMAの錠剤は、覚醒剤の成分など、さまざまなものを混ぜて作られています。いてたいへん危険です。

薬物に手を出してしまう背景

薬物に手を出すきっかけは、個人の要因と、社会環境の要因が関係しています。個人の要因では、好奇心から、また害についての知識不足などが挙げられます。一方、社会環境の要因では、周囲の人がみんなやっている、友達からの誘いなどがあります。自分ではやりたくなく、害があることはわかっている、友達から勧められてなんとなく薬物を使用してしまい、やめ

られなくなってしまうこともあります。薬物に誘われても、断ることができるように、下のポイントを確認しましょう。



薬物を誘われたときの断り方のポイント

・簡潔に断る

興味がない、関心がない、やらない、けっこうですなど、シンプルに断る。

・法律や人を理由に断る

違法であること、警察に捕まること、ばれたら学校を退学になるかもしれないこと、部活動の大会に出られなくなること、先輩や友人に迷惑がかかることなどを伝える。

・害の例を挙げて断る

脳や体に悪影響がある、将来の夢の実現が難しくなるなどを理由に。

・相手の言うことの疑問点を指摘

「1回なら大丈夫」と誘われたら、「1回使うだ

けでも死ぬことがある」と断る。

・逃げる、立ち去る

会話での対応が難しい場合は、その場から離れましょう。



薬物に関するQ&A

Q. 大麻を合法化している国もありますが、日本で

A. カナダやアメリカ(一部の州)では、大麻が合法化されていますが、もともとこれらの地域では大麻乱用の経験率が高く、大麻が反社会勢力の資金源になっているため、仕方なく政府が管理しているという状況です。

また、日本の大麻取締法では、国外においても大麻の所持・譲渡(購入を含む)等は罪に問われる場合があります*。

Q. 薬物使用は自己責任であり、個人

A. 違法薬物は心身や社会に大きな悪影響を及ぼします。薬物に依存すると、自分をコントロールすることが難しくなり、周りの人たちを巻き込んだり、社会問題を引き起こしたりします。薬物にコントロールされてしまった状態は、個人の自由な人生とはいえません。

(*参考サイト)

「海外での薬物犯罪・違法薬物の利用・所持・運搬」(外務省海外安全ホームページ) https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_yakubutsuchousi.html